



松籟荘「家族の会」たより

第63号（令和2年8月29日）発行



お誕生日おめでとうございます

8月 ノブさん（81歳） 寿子さん（87歳） きよさん（92歳） 文子さん（90歳） はる乃さん（86歳）
 ヒサ子さん（102歳） よし子さん（89歳）
 9月 眞知子さん（71歳） 幸子さん（86歳）

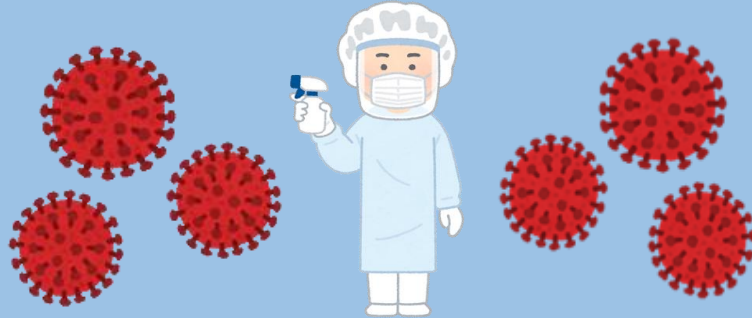
新型コロナウイルス感染対策におけるシミュレーションの実施について



新型コロナウイルス感染症の発見から早 8 ヶ月以上が経過し、専門家や様々な分野から研究が進められ、ワクチンや薬の開発などが進化しています。日本国内でみれば、少しずつ感染拡大の弱まりも見せていますが、病院や施設においてはまだまだ気が抜けない状況が続いております。また施設においては、毎日のように厚生労働省や茨城県からの情報を確認し、新型コロナウイルス感染についての知識や対策を取っています。そのような中、日立保健所内管内における日立市・高萩市・北茨城市にある施設職員対象に、茨城県南部の介護保険施設で実際に発生したクラスター対応をした感染管理認定看護師を講師とした、リモート研修会が8月18日に開催されました。より実践的で体験を踏まえた内容であり、参加した職員としては、非常に勉強になるものでした。

当施設内でも感染予防に日々取り組んでおりますが、正しい知識とより実践的な対策を取るべく、施設内での勉強会を行う前に、各部署の代表が中心となり「感染症が発生した場合のゾーニングと防護服着脱のシミュレーション」を実施しました。以前より行っているノロウイルス対策のための防護服の着脱と概ね変わりはありませんが、「レッドゾーン（汚染区域）」「イエローゾーン（準清潔区域）」「グリーンゾーン（清潔区域）」の領域に分けて対応するのを間近で見ると、よりこの感染症の怖さと不安が増しました。特に新型コロナウイルス感染症は飛沫感染と接触感染が中心であるため、実際の感染者を対応する際の職員の心構えや正しい手技の獲得は必須であると感じました。

「感染を持ち込ませない」は勿論ですが、万が一感染症が発生した場合も、冷静に判断し、「それ以上の感染者を増やさない」を心掛け、職員一丸となって大局を乗り越えられればと思っています。ご家族様にもご負担やご心配をお掛けすることもございますが、職員も日々努力を重ねていることをご理解いただければ幸いです。



兎にも角にも、基本は「手洗い&手指消毒」です。
 日々の努力から感染の拡大は防げる部分が大きいです！
 一人一人が行動に気を払い、「大切な人のため」「周りの人たちのため」にちょっとした心がけと思いやりで新たな暮らしができることを望んでいます。



昨年は台風、今年はコロナ…今年度のそば祭りもやむを得ず中止となります。様々なイベント等も中々開催することが困難ですが、少人数で少しでも入居者様が楽しんで貰えることを検討していきたいと考えております。